



長野県と長野市



長野市街地

## はじめに

「日常記憶地図」は、2012年に開発した、個人のあまり意識されない「場所の記憶」を引き出すための方法です。2020年春から夏、コロナ禍で移動が難しい中、長野市内で9人の1950年代から2020年までの記憶を聞きました。この冊子は、長野県立美術館の2021年企画展「美術館のある街・記憶・風景『日常記憶地図』で見る50年」に出展した作品《日常記憶地図 長野編 1950s - 2020》と、会期中に会場で集めた《あなたの場所の記憶》を年代別にまとめました。その他次の内容を収録しています。

- ・郷土作家らと場所との関わりについてのミニコラム「長野を歩いた人たち」
- ・信濃美術館（現・長野県立美術館）の記憶を関係者に寄稿いただいた「美術館のある街」
- ・制作のプロセスや考察をまとめた「長野を歩いて考えたこと」

長野市街地は、善光寺や長野駅、周囲を囲む山々や鉄道により、市街地が囲まれ、密度が高いと感じられます。そのため、場所の記憶が必然的に重なり合っています。特に善光寺や信濃美術館は、世代が上の人ほど日常生活の中で頻繁に訪れています。権堂の商店街、城山公園、丸光百貨店、映画館など、1950年代から2000年代までの、場所の変化や痕跡が記憶を通じて浮かび上がってきました。この冊子により、長野の街に重なる「場所の記憶」に触れ、できれば実際に歩いていただければ幸いです。

※可能な範囲で確認していますが、記憶の語りは必ずしも事実とは限らないことご了承ください。

## サトウアヤコ

## 目次

9	1950年代	てつおさんの長野 銀扇寮、三ツ輪、アメリカ文化センター／産業文化博覧会、湯福神社、千鳥ヶ池、果樹園／往生寺、市役所、印刷工場、お風呂屋さん／鐘鑄川、妻科神社、弥栄神社、路地、西宮神社、善光寺、雲上殿
13		〈1950年代の「場所の記憶」〉
15	1960年代	光広さんの長野 宮原書店、相生座／中劇／グランド劇場、善光寺、西宮神社／秋葉神社／丸光、すずかけ、市営プール、城山公園、信濃美術館、権堂／秋葉神社
19		睦美さんの長野 権堂／丸光、大門、朝陽館、すずかけ、オルガン教室、県立図書館、まむし屋、議事堂、銀行、大黒さん、善光寺、信濃美術館、レストランやま、千石映画館／相生座、権堂／善光寺、西宮神社／大門、後町小学校、小学校の近くの道／裾花館、宮下あんこ屋、旭幼稚園／ノルマン邸、東京堂模型店、ナカジマ会館、市民プール、県町通りとその近く
27		かずみさんの長野 権堂、美倉、香園、やま、東映の映画館、加藤鯉店、千石劇場、大門、勤労者福祉センター、勤労者福祉センターの周り。へび屋、丸光百貨店、仲見世通り、善光寺、信濃美術館、名店デパート、城山動物園／市民プール、家の近所のおばちゃんのおうち
32		〈1960年代の「場所の記憶」〉
35	1970年代	睦美さんの長野 えちぜんや画廊、レコード屋、善光寺、奈良堂、市民会館、勤労者福祉会館、仏陀、石段、ジャズ喫茶、若菜書房
38		〈1970年代の「場所の記憶」〉
41	1980年代	秀磨さんの長野 市民プール、城山動物園、信濃美術館、市営球場、丸光デパート、善光寺、千鳥ヶ池、金華堂／西澤書店、駄菓子屋、城山
45		正一さんの長野 城山保育園、萬住亭、亀の湯／鶴の湯、山の手商店街、グランドホテルこづまや、善光寺、日の丸、すずかけ／東京堂模型店、プリン山、城山小学校、信濃美術館、相生座／サンテオレ、昔の家
49		エイコさんの長野 亀の湯、市立図書館、ことぶき食堂、権堂アーケード、インディア、城山公園、画材マチス、画廊喫茶ルートレック、喫茶店モーツァルト、道場
52		〈1980年代の「場所の記憶」〉
55	1990年代	珠美さんの長野 くるま池／山の手商店街、ますや、北沢生花店、ミリュウ、割烹ちんや、城山公園、ネオンホール
58		〈1990年代の「場所の記憶」〉
61	2000年代	Tさんの長野 画材屋、東宝／ロキシー／ガラスネ、権堂のアーケード、城山公園、城山動物園、少年科学センター、ネツ商店、太平堂、ひまわり公園、湯福神社、野の花、西宮神社、善光寺、早朝の善光寺
65		〈2000年代の「場所の記憶」〉
66		〈2010~2020年代の「場所の記憶」〉

## 〈美術館のある街〉

69	74	写真	篠田優 《Pinhole photography / The Nagano Prefectural Shinano Art Museum》
70		寄稿	篠田優 「信濃美術館と城山公園の思い出」
72		寄稿	松井正 「信濃美術館の内側から」

## 〈長野を歩いて考えたこと〉

77		100年を歩く
78		長野の「日常記憶地図」から
80		《日常記憶地図 長野編 1950s - 2020》制作プロセス

82		参考文献
----	--	------

		〈長野を歩いた人たち〉 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">コラム</span>
19		篤友と池田満寿夫
22		県町と横井弘三、中村茂八
28		武井工芸店と中村實、中村直人
29		柏与と中村不折
36		奈良堂と池田満寿夫
47		城山小学校と石井鶴三、池田満寿夫
49		権堂アーケードと森温理
50		画材マチスと北澤定一
61		松花堂文房具店と草川信、河野通勢

表紙地図：『卓上 長野県』塔文社（1963）©塔文社

## てつおさんの長野

善光寺門前の大門で生まれ育つ。当時保育園児～小学生。

### 銀座寮

うちの店の横に「銀座寮」っていう、長野じゃ多分最初の喫茶店があった。旅館の「五明館」は「五明館扇屋」っていう屋号で元々は扇屋で、「ひおうぎ」って名前の美容室もあったんだよね。銀座寮の建物は、入口の待合の部屋に椅子があって、奥に席が用意されていた。真ん中に柱が一本、でっかい大木が植わってるみたいだった。普段入れるような店じゃなくて、年に1回お祭りの時にだけ、おじいさんに連れていってもらおう。うす茶のアイスクリームが最高だった。ちょっとシャーベットっぽくて、なんかわからない香りがするんだよね。それがたまに好きでね。

五明館は江戸時代中期に旅館として創業。1938(昭和13)年から敷地内で銀座寮を始めた。6代目は帝国ホテルで修行し、早くから外国人客にも対応した。うす茶アイスクリームは、帝国ホテル料理長の直伝のレシピ。五明館は2011(平成23)年に閉店した。

両親が五明館で結婚式を挙げたという80代の方もいた。



権堂通り 1955(昭和30)年頃

### アメリカ文化センター／産業文化博覧会

信濃美術館ができる前はアメリカ文化センターがあった。城山公園では1961(昭和36)年に産業文化博覧会が開かれて、うちの店も出品したね。小学校6年の頃かな。歴史館や郷土物産館みたいな建物がいくつもあって、その中で展示をして。当時、善光寺の仲見世で人形を売っていて、出品した物がまだ店に残ってる。尼公上人って、善光寺のお上人さんを模して作ってあるんだけど、手伝いに行ったら、特製のでっかいガラスケースの上に物を置いて割ってしまった。確か御開帳中で、善光寺の方にはいわゆるろくろっ首みたいな、見世物小屋があった気がする。「入っちゃいけないよ」って言われたけど、表から見えるんだよね。



五明館扇屋 大正時代

1950(昭和25)年に長野市公民館を改装してアメリカ図書館が開館、その後長野アメリカ文化センターに改称する。1908(明治41)年に、一府十県連合共進会という博覧会が開催され、芝居小屋や映画館も周辺に多い。新しいものが集まり、観ることができる場所であり続けたと思われる。

長野産業文化博覧会は1961(昭和36)年の善光寺の御開帳に合わせて城山公園を会場に開催された。電波と電気通信館、南極館、宇宙館、プラネタリウム館、原子力館などの展示館が建てられ、全国の観光と物産館は各県から郷土色豊かな物品が集まった。

善光寺は、天台宗の大勧進と浄土宗の大本願からなる。大勧進の住職は貫主、尼僧寺院である大本願の住職は尼公上人と呼ばれる。

### 三ツ輪

よく買い物に行かされたのは権堂の「三ツ輪」っていう肉屋さん。2階は料理屋みたいな感じで、けっこう大きい店だったんだよ。今は居酒屋さんになってる。肉も買ったかもしれないけど、揚げ物、カツやシューマイとかを買ってこいってよく言われてた。





長野市公民館 1955（昭和30）年頃



### 湯福神社

昔は土俵があって、遊び場だった。同級生がこの辺に住んでたしね。昔はそんなに公園なんて無くて、神社とか街の中、路地で遊んでたんだもんね。ここでは野球というか、やわらかいボールで三角ベースをしていたかもしれない。



1812（文化9）年、善光寺で松代藩主の御前での相撲興行があり、その後湯福神社に奉納相撲が行われるようになった。



講とは同じ信仰を持つ人による結社。遠方の寺社への参拝のための講も多く存在した。

長野県は打ち上げ花火の産出量が多い。長野えびす講煙火大会は、1899（明治32）年、えびす講の時期の、市内の店の大売出しにあわせて始まった。2025（令和7）年が119回目の開催となる。

### 千鳥ヶ池

善光寺は善光寺保育園や学校に行くための通学路で、寺の北側の池は、千鳥ヶ池、つばめ池って言ったんだ。つばめ池は蓮池でね。蓮がいっぱい咲いてたね。ここでけっこうザリガニやエビを取った。



善光寺保育園 1950（昭和25）年頃

### 果樹園／往生寺

夏はよく果樹園と営林署まで遊びに行った。面白かったんだよね。果樹園にはリンゴ畑や果樹試験場もある。消毒のためか、リンゴの木の幹に石灰を塗っていて真っ白けだった。でも、セミがたくさんいて、取って回ったかな。

＊

元々は往生寺辺りが一番リンゴの産地なんだよね。昔は善光寺から皆歩いて往生寺まで行ったっていうんだよね。町塚って、1町、2町って6町くらいまであってね。誰が歩くもんかっていうような坂道だよ。



箱清水果樹試験地は、1921（大正10）年に開場、県唯一の果樹試験研究機関であり、リンゴを中心に品種・栽培技術・病虫害防除試験などが行われていた。

往生地は長野県でも早くリンゴが植えられた産地の一つであり、善光寺参拝客への土産物として販売された。かつては善光寺参拝の後には往生寺に参拝しないと「善光寺だけでは片参り」と言われた。



講とは同じ信仰を持つ人による結社。遠方の寺社への参拝のための講も多く存在した。

### 市役所

西方寺というお寺の西側に市役所と消防署があって、ここも遊び場だったね。学校の帰りはここでずっと遊んでた。池もあったり、消防署はホースを干してるのが面白かったね。



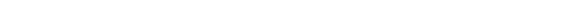
1897（明治30）年に長野市が誕生した次の年、洋館建ての市庁舎が建てられ、1965（昭和40）年まで使用された。



市役所 1950（昭和25）年頃



講とは同じ信仰を持つ人による結社。遠方の寺社への参拝のための講も多く存在した。



## 印刷工場

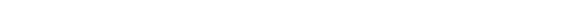
うちの近くの西町の角から2軒目、パン屋の前に印刷工場があって、前を通るとパタンパタン音がするんだよね。活字で印刷物を作っていて、その活字がなぜか工場の表に棄ててあって拾ったことがある。



活版印刷とは、金属の活字を並べた組版を作り、塗料を塗って印刷する技

術。日本では明治時代初期から普及し1970年代頃まで主に使われていた。

昭和20年代前半頃まで、大門は長野市内で印刷所の多い地域であった。



講とは同じ信仰を持つ人による結社。遠方の寺社への参拝のための講も多く存在した。



講とは同じ信仰を持つ人による結社。遠方の寺社への参拝のための講も多く存在した。



### お風呂屋さん／鐘鑄川

信用金庫大門町支店のところにお風呂屋さんがあって、家の風呂が傷んでしまった時に行った。ここに鐘鑄川っていう川が流れていて、深くて、上流の裾花川から水が流れてくる。お風呂屋さんの影響で水温が高いからかもしれないけど、イトミミズがたくさんいたんだよ。幅は狭いんだけど、下に深い川があったね。全部蓋しちゃったからね。



鐘鑄川は鐘鑄堰とも呼ばれる人工的な用水路で長野市街地を東西に流れていた。現在は多くが暗渠となっている。



講とは同じ信仰を持つ人による結社。遠方の寺社への参拝のための講も多く存在した。



講とは同じ信仰を持つ人による結社。遠方の寺社への参拝のための講も多く存在した。



講とは同じ信仰を持つ人による結社。遠方の寺社への参拝のための講も多く存在した。

妻科は散々行ったね。お祭りは10月1日、市内の秋祭りの中でも一番のお祭り。神輿も神楽も出るしね。夜9時になると境内で花火が上がるんだよね。木と木の間に仕掛け花火が上がって、夜店も並んでた。仕掛け花火の火の粉をかぶると危ないから、防空頭巾を持っていく。まだ戦争の感じが残ってたんだと思うよ。



妻科神社の奉納花火は、1777（安永6）年、名主が松代藩に許可を得たことが始まりとされている。



講とは同じ信仰を持つ人による結社。遠方の寺社への参拝のための講も多く存在した。



講とは同じ信仰を持つ人による結社。遠方の寺社への参拝のための講も多く存在した。



講とは同じ信仰を持つ人による結社。遠方の寺社への参拝のための講も多く存在した。



長野市のお祭りというと「御祭礼」っていう弥栄神社のお祭りで、小学校の時は屋台を引いてた。氏子の町をまわって、市民会館まで行ったんだよね。中央大通りの道幅が広がったばかりで舗装されてなかったんで、砂ぼこりがぼうぼうと立って、その中を引いていった。



弥栄神社の御祭礼は長野の祇園祭である。戦後は主に善光寺の御開帳時に行われていたが、2012（平成24）年からは毎年開催されている。

#### 路地

安田銀行の北側に、西方寺に行く広小路って路地がある。建物があってすごい暗い道だったけど、なくなったら明るくなった。学校への近道で、足が膝の高さまで入るぐらいの雪を踏んで行ってた。当時は大通りなんかなくて、若松町の道は細かった。



講とは同じ信仰を持つ人による結社。遠方の寺社への参拝のための講も多く存在した。



講とは同じ信仰を持つ人による結社。遠方の寺社への参拝のための講も多く存在した。



講とは同じ信仰を持つ人による結社。遠方の寺社への参拝のための講も多く存在した。

お祭りはけっこう行った。参道に目一杯人がいて、夜店で縁起物やだるまを売っていて、買いにいったりもしたよ。人の動きが今と全然違って多かった。白馬の方からも白馬講で来るって聞いたよ。

＊

えびす講の花火は長野で一番大きいの。明治時代から上げててね。柳町小学校のところ、三輪田町の高土手で上げてたらしい。うちで見ると、花火で窓ガラスがビリビリリッっていう。二尺玉はずどーんと落ちる感じの音がしてね。この辺の3階建てのおうちは、花火を見るために作ったんだよ。旭山あたりに花火の業者がいた。「信州煙火」、「青木煙火」とか何軒かあったと思うよ。



講とは同じ信仰を持つ人による結社。遠方の寺社への参拝のための講も多く存在した。

長野県は打ち上げ花火の産出量が多い。長野えびす講煙火大会は、1899（明治32）年、えびす講の時期の、市内の店の大売出しにあわせて始まった。2025（令和7）年が119回目の開催となる。



講とは同じ信仰を持つ人による結社。遠方の寺社への参拝のための講も多く存在した。



講とは同じ信仰を持つ人による結社。遠方の寺社への参拝のための講も多く存在した。



講とは同じ信仰を持つ人による結社。遠方の寺社への参拝のための講も多く存在した。



講とは同じ信仰を持つ人による結社。遠方の寺社への参拝のための講も多く存在した。



講とは同じ信仰を持つ人による結社。遠方の寺社への参拝のための講も多く存在した。



講とは同じ信仰を持つ人による結社。遠方の寺社への参拝のための講も多く存在した。



善光寺 昭和30年代

納骨堂なんだけど、長野市が一望できるほど見晴らしがよくて、大好きだった。善光寺保育園の遠足でこまでけっこう歩いたもんだよ。園児はみんな行ってるんだもんね。

雲上殿の壁画は仏画家の<sup>のうすこうせつ</sup>野生司香雪さんが描いていて、戦争中から長年長野に住んでたからみんなけっこう絵を描いてもらってるんだよね。

野生司香雪 (1885 - 1973) 日本画家、仏画家。雲上殿の壁画の準備を1940 (昭和15) 年から始め、長野市への疎開後、1947 (昭和22) 年に完成させた。



雲上殿 昭和30年代

(2020年6月 長野市大門町にて)

## 1950年代の「場所の記憶」

展覧会では、展示された9人の「日常記憶地図」を読んで、来場者の心の中に浮かんだ風景、場所をカードに書き留めてもらい、『あなたの場所の記憶』として展示していました。会期中はたくさんの「場所の記憶」が相互に響き合っているように感じられました。本冊子では長野市街地の記憶を中心に、年代別に収録しています。

つばめ池で下駄スケート、アメリカ文化センターでアメリカの映画の上映がありました。

当時10歳以下 長野市東之内町在住

9歳の時に初めて丸光百貨店でラーメンを食べさせてもらいました。

当時9歳 長野市西長野町在住



千鳥ヶ池 1953 (昭和28) 年頃

市役所に通勤していて、若松町囲りの本屋とすぐ近くの県立図書館へいつも行っていた。

当時20歳前後 (推定)



県立図書館 1961 (昭和36) 年頃

家の前は“ネズの牧場” (祢津牧場) でした。今は市役所、芸術館 (長野市芸術館) が建っています。道路を渡ると牧場です。家のうしろは貯金局 (旧郵政省貯金局)、夏は牧場の草むらで遊びました。ヘビが出たり、虫を取ったり。

当時10歳以下 長野市緑町在住

祢津牧場は1954 (昭和29) 年に市内に、その後現在地の信濃町に移転。当時のポプラの木は残されていたが、長野市民会館の解体と共に伐採された。

昭和30年頃は、長野駅前、長野電鉄駅西隣に広場 (空地) があり、木下大サーカス等がテントを張って興行しており、親に連れていってもらいました。

当時10歳以下 長野市問御所町在住

木下大サーカスは1902 (明治35) 年に岡山を本拠地として設立。1954 (昭和29) 年には赤い丸テントでの興行が始まる。

亀の湯 (p. 45) のすぐそばで生まれ、入学前まで住んでいた。県立図書館 (現・市立図書館) の庭は遊び場で、お風呂屋さんの裏でもおがくずにまみれて遊んでいた。

当時10歳以下 長野市長門町在住